

「エコプラセンター下荒針」の供用開始について

1 施設設置の目的

平成22年度末までに、資源物以外のごみ（焼却ごみ、不燃ごみなど）を平成12年度比で20%削減するため、平成22年4月から「プラスチック製容器包装」等の分別収集を開始することに伴い、収集した「プラスチック製容器包装」を選別・圧縮梱包するための中間処理施設を設置するもの

2 ごみの新分別の概要

平成22年4月から、プラスチック製容器包装を新たに分別収集するとともに、白色トレイ、紙パックを拠点回収から分別収集に切り替えることにより、ごみの分別の種類を5種10分別から5種13分別に拡大する。

3 これまでの経過

平成17年度	一般廃棄物処理基本計画の策定（ごみの減量目標を設定）
平成18年度	施設整備基本構想の策定（候補地、施設規模等の決定） 循環型社会形成推進地域計画の策定（国交付金の活用）
平成19年度	施設整備基本計画の策定（施設整備・運営計画の決定） 生活環境影響調査の実施（～平成20年度）
平成20年度	旧清掃工場の解体 施設の建設（～平成21年度）

4 施設の概要（別紙1、2参照）

当該施設には、最新の破袋機^{はたいき}や選別機などを導入するとともに、周辺地域の生活環境を保全するための脱臭設備や排水処理設備などを備えている。

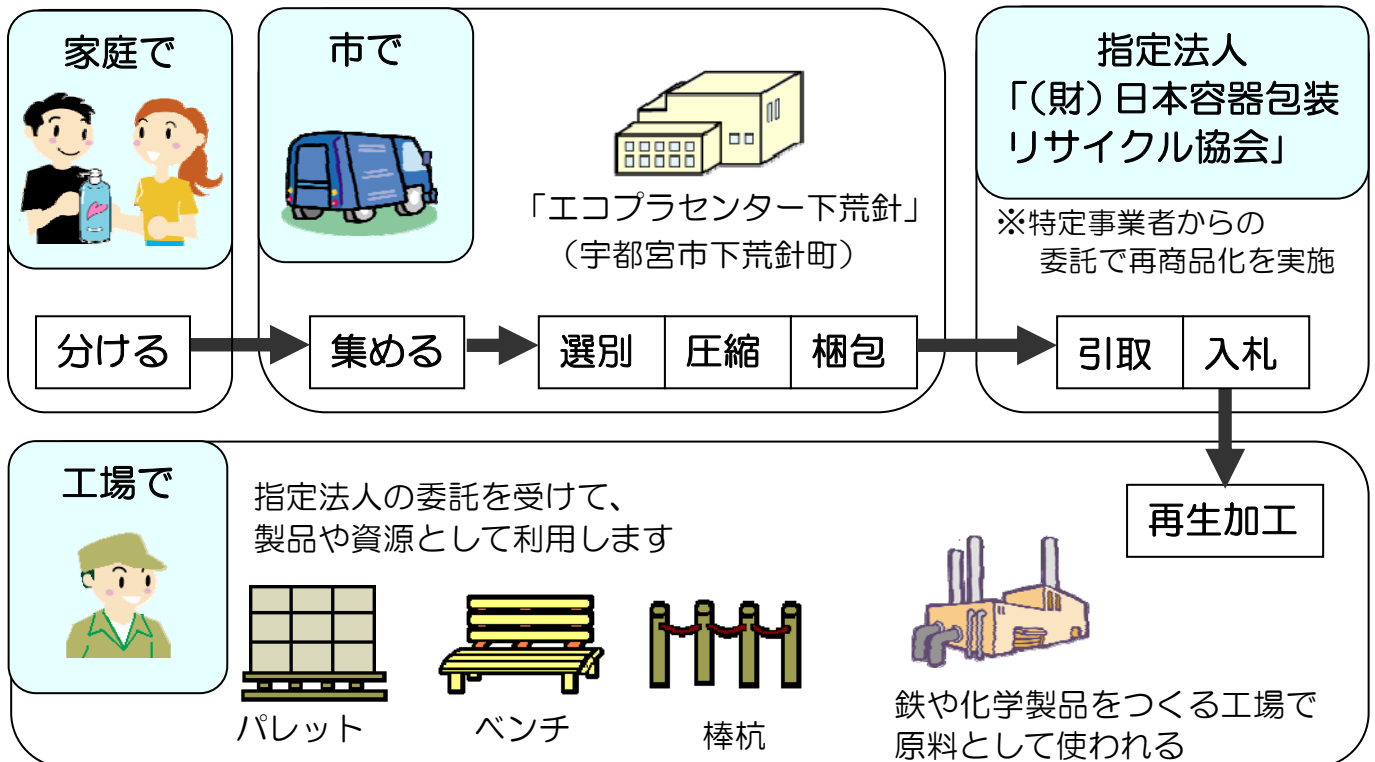
- ・ 所在地 宇都宮市下荒針町2678番地176（約3.1ヘクタール）
- ・ 施設名称 エコプラセンター下荒針
- ・ 処理対象物 プラスチック製容器包装、白色トレイ
- ・ 処理能力 36トン/日（6時間）、年間約9,100トン（焼却ごみの約5%）
- ・ 稼動時間 原則、午前9時～午後4時（ただし、正午～午後1時を除く）
- ・ 処理方式 破袋、選別、圧縮梱包
- ・ 建物構造 地上4階建て、鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
- ・ 延床面積 4,156.67平方メートル

- ・ 環境設備 集じん・脱臭設備，排水処理設備，太陽光発電設備（10kW）など
- ・ 整備費 1,520,684千円
（建設費 1,240,733千円 解体費 279,951千円）
⇒ 循環型社会形成推進交付金の活用（交付率1/3）
- ・ 運営体制 公営（管理は直営とし，施設運転は委託）

5 今後のスケジュール

平成22年3月17日 施設完成
 27日 落成式典
 4月1日 供用開始

分別収集からリサイクル（再商品化）までの流れについて



※特定事業者とは容器包装を利用又は製造等する事業者の事です。再商品化の義務があります。